

2025 年度 中央大学 学術講演会

テーマ一覧
講師紹介



目次

1. テーマ・講演概要

法律 (P.1～3)

A-1	「ビジネスと人権」と労働法	法学部准教授	井川 志郎	【対面】	【オンライン】
A-2	特殊詐欺と刑事法	法学部教授	只木 誠	【対面】	【オンライン】
A-3	医師によるALS患者殺人事件をめぐって	法学部教授	只木 誠	【対面】	【オンライン】
A-4	特殊感染症のパンデミックや大規模災害の発生と法	法学部教授	只木 誠	【対面】	【オンライン】
A-5	医療過誤事件と刑法	法学部教授	只木 誠	【対面】	【オンライン】
A-6	「犯罪」とはなにか、「刑罰」とは何か	法学部教授	只木 誠	【対面】	【オンライン】
A-7	陰謀論・フェイクニュースとどう向き合うのか	法学部教授	橋本 基弘	【対面】	
A-8	再エネ発電施設の立地をめぐる紛争と法	法学部教授	洞澤 秀雄	【対面】	【オンライン】
A-9	PTAと法	法務研究科教授	土田 伸也	【対面】	
A-10	企業社会の変化と労働基本権の現在地	法務研究科教授	米津 孝司	【対面】	【オンライン】

経済 (P.4～6)

B-1	高齢期の働き方、過ごし方	経済学部教授	阿部 正浩	【対面】	【オンライン】
B-2	労働市場の未来予測2035	経済学部教授	阿部 正浩	【対面】	【オンライン】
B-3	日本銀行の金融政策の「誤解」を解く	経済学部准教授	近藤 昌志	【対面】	
B-4	金利の仕組みを学ぶ	経済学部准教授	近藤 昌志	【対面】	
B-5	日本のピアノ産業の特徴、明治から現在まで	経済学部准教授	近藤 昌志	【対面】	
B-6	ハイモビリティとローモビリティの対立	経済学部教授	山崎 朗	【対面】	【オンライン】
B-7	プレミアムな地域創生	経済学部教授	山崎 朗	【対面】	【オンライン】
B-8	日本の経済はどうなっているか？	総合政策学部教授	川崎 一泰	【対面】	【オンライン】
B-9	人生100年時代の社会保障を考える	総合政策学部教授	川崎 一泰	【対面】	【オンライン】
B-10	AI、DXとどう付き合うか	総合政策学部教授	川崎 一泰	【対面】	【オンライン】

国際・グローバル化 (P.7)

C-1	ポピュリズムに揺れる西欧政治	法学部教授	古賀 光生	【対面】	【オンライン】
C-2	中国の将来 日本の針路	国際経営学部教授	深町 英夫	【対面】	【オンライン】
C-3	中国政治体制100年	国際経営学部教授	深町 英夫	【対面】	【オンライン】
C-4	台湾海峡問題とは何か	国際経営学部教授	深町 英夫	【対面】	【オンライン】

ICT・科学・環境 (P.8～11)

D-1	生成AIとは何か	法学部教授	工藤 裕子	【対面】	【オンライン】
D-2	AI&ビッグ・データ時代のプライバシー	法学部教授	工藤 裕子	【対面】	【オンライン】
D-3	再エネ発電施設の立地をめぐる法	法学部教授	洞澤 秀雄	【対面】	【オンライン】
D-4	地球環境と二酸化炭素排出量の問題・関係	理工学部教授	大石 克嘉	【対面】	【オンライン】
D-5	人工血液開発の最前線	理工学部教授	小松 晃之	【対面】	
D-6	知能とはなにか	理工学部教授	田口 善弘	【対面】	【オンライン】
D-7	AI(人工知能)の過去・現在・未来	理工学部教授	田口 善弘	【対面】	【オンライン】
D-8	はじめての機械学習	理工学部教授	田口 善弘	【対面】	【オンライン】
D-9	生命はデジタルでできている	理工学部教授	田口 善弘	【対面】	【オンライン】
D-10	学び直し高校物理	理工学部教授	田口 善弘	【対面】	【オンライン】
D-11	歴史に学ぶ、健康や病気にまつわるエビデンスの確立と統計学	理工学部准教授	竹内 文乃	【対面】	【オンライン】
D-12	備災：10のキーワード	理工学部教授	谷下 雅義	【対面】	【オンライン】
D-13	生活における「音」の効果	理工学部教授	戸井 武司	【対面】	【オンライン】
D-14	マーケティングとDX	理工学部教授	生田目 崇	【対面】	【オンライン】

地域・社会・政治 (P.12～15)

E-1	ポピュリズムはなぜ世界中で台頭するのか	法学部教授	工藤 裕子	【対面】	【オンライン】
E-2	メガ・イベントとは何か	法学部教授	工藤 裕子	【対面】	【オンライン】
E-3	ポスト・コロナの観光のあり方とは	法学部教授	工藤 裕子	【対面】	【オンライン】
E-4	現代の政党が抱える課題	法学部教授	古賀 光生	【対面】	【オンライン】
E-5	高度国防国家の構想	経済学部教授	山崎 朗	【対面】	【オンライン】
E-6	新しい治水政策「流域治水」から地域の将来を考える	理工学部教授	手計 太一	【対面】	【オンライン】
E-7	超高齢社会・人口減少社会における社会設計のあり方	文学部教授	天田 城介	【対面】	
E-8	現代日本社会における高齢者介護の変容	文学部教授	天田 城介	【対面】	
E-9	ケアの現場で働くということ	文学部教授	天田 城介	【対面】	
E-10	超高齢化・人口減少社会における地方の現実	文学部教授	天田 城介	【対面】	
E-11	ポスト経済成長時代における超高齢社会・人口減少社会における「貧困」の現実	文学部教授	天田 城介	【対面】	
E-12	パリ国際大学都市	文学部教授	小野 潮	【対面】	
E-13	世論調査から見る世界と日本人	文学部教授	安野 智子	【対面】	【オンライン】
E-14	人生100年時代の地方創生	総合政策学部教授	川崎 一泰	【対面】	【オンライン】

人文・文化 (P.16～20)

F-1	中央大学オリンピック第1号	商学部教授	市場 俊之	【対面】	
F-2	金印から読み解く中国古代王朝	文学部教授	阿部 幸信	【対面】	
F-3	ラーメンと人類史	文学部教授	阿部 幸信	【対面】	
F-4	漢詩と日本人	文学部教授	阿部 幸信	【対面】	
F-5	東洋学誕生記	文学部教授	阿部 幸信	【対面】	
F-6	日本人の心の原点を知る	文学部教授	大川 真	【対面】	
F-7	ナポレオンとメディア	文学部教授	小野 潮	【対面】	
F-8	ボナパルト家の人びと	文学部教授	小野 潮	【対面】	
F-9	遺跡発掘でさぐる縄文の暮らし	文学部教授	小林 謙一	【対面】	【オンライン】
F-10	考古学からみた邪馬台国論争	文学部教授	小林 謙一	【対面】	【オンライン】
F-11	災害の考古学	文学部教授	小林 謙一	【対面】	【オンライン】
F-12	前期旧石器ねつ造事件と日本考古学	文学部教授	小林 謙一	【対面】	【オンライン】
F-13	考古遺跡にみる世界遺産	文学部教授	小林 謙一	【対面】	【オンライン】
F-14	「推し活」の文化社会学	文学部教授	辻 泉	【対面】	【オンライン】
F-15	僕らはなぜ鉄道が好きなのか？	文学部教授	辻 泉	【対面】	【オンライン】
F-16	若者の「地元志向」を考える	文学部教授	辻 泉	【対面】	【オンライン】
F-17	文化遺産と博物館	文学部教授	西川 広平	【対面】	【オンライン】
F-18	記録された災害史	文学部教授	西川 広平	【対面】	【オンライン】
F-19	水資源の歴史学	文学部教授	西川 広平	【対面】	【オンライン】

教育・心理・哲学 （P.21）			
G-1	聴覚の謎に迫る！	理工学部教授	戸井 武司 【対面】 【オンライン】
G-2	「底の抜けた社会」にどう向き合うべきか	文学部教授	太川 真 【対面】
G-3	身近な社会心理学（1）-世界は歪んで見えている？日常に潜む認知的バイアス-	文学部教授	安野 智子 【対面】 【オンライン】
G-4	身近な社会心理学（2）-同調圧力と集団の社会的影響-	文学部教授	安野 智子 【対面】 【オンライン】
ビジネス （P.22）			
H-1	個人の強さと組織の弱さ	商学部教授	三浦 俊彦 【対面】
H-2	日本マンガ・アニメの強さの秘密	商学部教授	三浦 俊彦 【対面】
H-3	日本の消費者はなぜ品質に厳しいのか	商学部教授	三浦 俊彦 【対面】
H-4	クールジャパンの起源に迫る	商学部教授	三浦 俊彦 【対面】
その他 （P.23）			
I-1	文系のためのデータ分析入門	文学部教授	安野 智子 【対面】 【オンライン】
I-2	終戦80年：特攻と中央大学	国際情報学部教授	松野 良一 【対面】
I-3	職場におけるコロナワクチン接種と労働法の課題	法務研究科教授	米津 孝司 【対面】 【オンライン】

2. 講師紹介

法学部教員・・・P.24～26

経済学部学部教員・・・P.27～28

商学部教員・・・P.29

理工学部教員・・・P.30～33

文学部教員・・・P.34～38

総合政策学部教員・・・P.39

国際経営学部教員・・・P.40

国際情報学部教員・・・P.41

法務研究科教員・・・P.42

【法律】

A-1	井川 志郎	イカワ シロウ	法学部准教授【講師紹介はこちら】
講 演 形 式 : 【対面】【オンライン】			
「ビジネスと人権」と労働法			
—何故そして何が問われているのか—			
[講演概要]			
近時、様々なところで「ビジネスと人権」、そしてその重要な構成要素である「人権デューディリジェンス」というキーワードが注目されているようです。ここで「人権」として想定されているものの多くは、労働者の人権であり、講師の専門とする労働法学の領域でも関心は高まっています。しかし、そもそも何故、またいったい何が、「ビジネスと人権」という標題のもとで問われているのでしょうか。また、人権デューディリジェンスのような取組みが企業に求められるのは、何故でしょうか。また、企業にそうした取組みを求める現在の政策に、何か課題はないのでしょうか。本講演では、労働法学者の見地から、「ビジネスと人権」そして「人権デューディリジェンス」という流行りのテーマの根本と展望を考察します。			
A-2	只木 誠	タダキ マコト	法学部教授【講師紹介はこちら】
講 演 形 式 : 【対面】【オンライン】			
特殊詐欺と刑事法			
—特殊詐欺に対応する刑事法・裁判所の動き—			
[講演概要]			
近年、特殊詐欺の発生が後を絶たないなか、詐欺罪、窃盗罪について早い時点で未遂の成立を認め、また、共犯を広く認めるという、従来の判例理論に変わる新たな判断が最高裁判所で示された。これを受けて、受け子・出し子といった末端の行為者のみならず犯罪組織の上位者にまで捜査・逮捕の手を伸ばすことが可能となり、被害金の回収の試みもより実効性あるものとなっている。このような現況の刑事法の働きかけについて検討する。			
A-3	只木 誠	タダキ マコト	法学部教授【講師紹介はこちら】
講 演 形 式 : 【対面】【オンライン】			
医師によるALS患者殺人事件をめぐる			
—安楽死・尊厳死の問題を考えながら—			
[講演概要]			
先年、2人の医師が、本人の依頼のもと薬物を投与して難病ALS患者を殺害したとして逮捕された事件は世間に大きな衝撃を与えた。医学・科学の進歩に伴い、終末期医療の場面で生じている少なからぬ葛藤や相克に喫緊の法的対応が求められている現在、安楽死・尊厳死などにどのように向き合っていくべきか。日本からの新規加入者も指摘されるヨーロッパの安楽死団体の問題にも触れながら、現代における「死」の問題を考える。			
A-4	只木 誠	タダキ マコト	法学部教授【講師紹介はこちら】
講 演 形 式 : 【対面】【オンライン】			
特殊感染症のパンデミックや大規模災害の発生と法			
—生命と法について考える—			
[講演概要]			
傷病者が多数同時に発生した場合に、傷病の程度や緊急性に応じて医療措置の優先順位を決するトリアージの行為は、大規模災害において、また、コロナ感染症の流行のもと一般にも知られるようになったが、そもそも、トリアージは「生命の比較衡量の禁止」という原則に反しないのか。優先度が低いとされた傷病者について医師の義務違反は発生しないのか。トリアージが許される法的根拠の問題等について法的な立場から検討する。			

A-5	只木 誠	タダキ マコト	法学部教授【講師紹介はこちら】
講 演 形 式 : 【対面】【オンライン】			
医療過誤事例と刑法			
[講演概要]			
近時、医学医療技術が飛躍的に進歩するなか、同時にまた、医療の現場においては、医療従事者による過失事故すなわち医療過誤の案件も多く報告され、なかには大きな社会問題となった事例も存している。この医療過誤事故の問題について、刑罰的にはどのような対応がなされているのか、また、今後なされていくべきであるのかを考える。			
A-6	只木 誠	タダキ マコト	法学部教授【講師紹介はこちら】
講 演 形 式 : 【対面】【オンライン】			
「犯罪」とはなにか、「刑罰」とは何か			
ー少年法も取り上げながらー			
[講演概要]			
刑法が誕生して100年余が経過し、裁判が市民の手に委ねられる現在、刑法もまた市民生活において理解容易なものでなければならない。犯罪とは何か、犯罪はいかなる要件をもって成立するのか、刑罰とは何か、少年法とは何か等、日常生活における法との関わりを分かり易く解説する。			
A-7	橋本 基弘	ハシモト モトヒロ	法学部教授【講師紹介はこちら】
講 演 形 式 : 【対面】			
陰謀論・フェイクニュースとどう向き合うのか			
ーうそと民主主義ー			
[講演概要]			
アメリカ大統領選挙でも、また最近行われた兵庫県知事選挙でもSNSをもちいたウソの拡散が大きな問題となりました。ではこのようなウソ（フェイクニュース・陰謀論）を禁止することはできるのでしょうか。あるいは適切なのでしょうか。これはまた民主主義と表現の自由に関わる問題であって、私たちの自由を左右するほどの重要問題です。			
A-8	洞澤 秀雄	ホラサワ ヒデオ	法学部教授【講師紹介はこちら】
講 演 形 式 : 【対面】【オンライン】			
再エネ発電施設の立地をめぐる紛争と法			
ー太陽光・風力発電を中心にー			
[講演概要]			
太陽光、風力などの再エネの発電施設について各地で開発が進む一方、一部の地域では再エネ開発が地域紛争にも至っている。大規模な太陽光発電施設が山を切り開いたり、風力発電の風車が景観を害したりといった理由で、地域住民の反対が見受けられる。そしてこうした再エネ施設の立地を規制する自治体の条例も増えつつある。こうした再エネ施設への自治体の対応について、講演をする地域での状況にも合わせながら、環境法・行政法の観点から考察してゆく。こうした状況について、風力発電施設をめぐる多くの紛争を経たイギリス法を参照して、環境法・行政法の観点から考察していく。			

A-9	土田 伸也	ツチダ シンヤ	法務研究科教授 [講師紹介はこちら]
講 演 形 式 : 【対面】			
PTAと法			
ーPTAで悩んでいませんか?ー			
[講演概要]			
戦後、急速に普及したPTAは現在、さまざまな問題を抱えている。とりわけ強制加入の問題や、PTA会費による学校備品の購入の問題などは、社会的にも注目を集めてきた。近年、これらの問題をめぐって新たな動きが見られるようになってきたことから、それらの動きもふまえつつ、PTAに関する諸問題を法的観点から分析し、問題解決のための糸口を提示したい。			
A-10	米津 孝司	ヨネヅ タカシ	法務研究科教授 [講師紹介はこちら]
講 演 形 式 : 【対面】 【オンライン】			
企業社会の変化と労働基本権の現在地			
[講演概要]			
これまで、労働基本権は企業内の労使関係を中心に議論され、従業員組合を前提として展開されてきました。しかし、企業社会の構造的な変化により、団結権や労働基本権の保障は、企業の枠を超えて新たな形で展開されることが予想されます。本講演では、そうした変化に対応する労働法の考え方や課題について考察し、現代の企業社会における労働基本権の新たな在り方を提示します。			

【経済】

B-1	阿部 正浩	アベ マサヒロ	経済学部教授【講師紹介はこちら】
講演形式：【対面】【オンライン】			
高齢期の働き方、過ごし方 [講演概要] 2025年には高度経済成長を支えてきた「団塊世代」が75歳以上を迎え、また2030年には人口のおおよそ3分の1が65歳以上の高齢者になります。こうしたなかで日本経済の人手不足を解消するため、政府は高齢者の労働参加を促す基盤整備を行ってきました。高齢者が活躍する社会とはどのような社会なのか、どのような人が高齢期に活躍するのか、考えてみたいと思います。			
B-2	阿部 正浩	アベ マサヒロ	経済学部教授【講師紹介はこちら】
講演形式：【対面】【オンライン】			
労働市場の未来予測2035 ーこれから日本の労働市場はどうなるのか。その対策は。ー [講演概要] 少子高齢化が進む日本の労働市場では女性やシニア、外国人など多様な就業者が増加しました。また、コロナ禍を経て、リモートワークや副業・兼業といった多様な働き方が浸透するなど、労働市場は大きく変化しつつあります。こうした状況を踏まえ、（株）パーソル総合研究所と共同研究として取り組んで来た「労働市場の未来推計2035」について、分析の過程と結果、そして今後の対策についてお話しします。			
B-3	近廣 昌志	チカヒロ マサシ	経済学部准教授【講師紹介はこちら】
講演形式：【対面】			
日本銀行の金融政策の「誤解」を解く ー低金利が社会にとって不利な理由ー [講演概要] 金利のある世界に少しずつ回帰していますが、そもそも金融政策や日本銀行の機能について、人々は大きな誤解を持っています。さらに低金利が経済に有利だと理由もなく考える人がいますが、これも間違いです。この講演では、金融理論を平易な言葉で、背景などの知識がなくても理解できるようにお話しさせていただきます。			
B-4	近廣 昌志	チカヒロ マサシ	経済学部准教授【講師紹介はこちら】
講演形式：【対面】			
金利の仕組みを学ぶ ー生活に必要な金利の理解ー [講演概要] 金利の仕組みについて、事前学習なしでも理解できるようにお話しさせていただきます。 これからの企業経営、生活に欠かせない分野です。 ぜひ一緒に学んでみましょう。			

B-5	近廣 昌志	チカヒロ マサシ	経済学部准教授【講師紹介はこちら】
講 演 形 式 : 【対面】			
日本のピアノ産業の特徴、明治から現在まで ードイツ・米国・オーストリアのピアノづくりとの比較ー [講演概要] かつて200社存在した日本のピアノメーカーは、現在は大手2社と小規模メーカーが数社存在するのみになりました。洋楽器がどのように日本に浸透し、何を特徴として製造してきたのか、欧米のメーカーとは決定的に違うことが存在します。これは楽器産業を事例に、日本の製造業とは何かを問い直す内容です。			
B-6	山崎 朗	ヤマサキ アキラ	経済学部教授【講師紹介はこちら】
講 演 形 式 : 【対面】【オンライン】			
ハイモビリティとローモビリティの対立 [講演概要] 高速道路、新幹線、空港、高速通信など、人もの情報の空間移動の速度は高速化を続けてきた。新しい産業の創出やライフスタイルの変化も、これらのハイモビリティ技術やそれを支える社会資本整備によって、支えられてきた。しかし、高齢化、単身世帯化、デジタル化、サービス化、人口減少は、公共交通の衰退、高齢者の免許返納・徒歩可能距離の短縮化、アクセス距離の増加といった、「ローモビリティ化」をもたらしている。			
B-7	山崎 朗	ヤマサキ アキラ	経済学部教授【講師紹介はこちら】
講 演 形 式 : 【対面】【オンライン】			
プレミアムな地域創生 ーB級からS級への転換ー [講演概要] B級グルメ、民泊、ゆるきゃら、イベントではなく、地域の豊かさを基盤としたプレミアム、ラグジュアリーな地域創生が、これからの地域の未来戦略となる。無用・無料・不要とされてきた地域資源の活用によるプレミアムな地域創生についてお話しします。参考図書は、山崎朗・鍋山徹編著『地域創生のプレミアム戦略』中央経済社、2018年。			
B-8	川崎 一泰	カワサキ カズヤス	総合政策学部教授【講師紹介はこちら】
講 演 形 式 : 【対面】【オンライン】			
日本の経済はどうなっているか？ ー物価高とDX化ー [講演概要] 日本は「人件費(賃金)が高い」、「物価が高い」、「貿易立国」、「技術立国」、など高度経済成長期からバブル期までの日本で言われていたことが未だにアップデートされないままの人が多く。この誤った認識の挙句の果てに「日本はもう成長をしない」という標語で語られ、誤った経済政策につながっていく。最新のデータで認識をアップデートしながら、日本の経済について考える。			

B-9	川崎 一泰	カワサキ カズヤス	総合政策学部教授〔講師紹介はこちら〕
講 演 形 式 : 【対面】 【オンライン】			
人生100年時代の社会保障を考える [講演概要] 人生100年時代と言われるように、寿命が延びる中、かつての高齢者のイメージとは異なるアクティブなシニア世代が増えている。こうした中、社会保障の考え方も昭和時代のものから変化が求められるようになり、改革が進められている。ここでは社会保障の仕組みを簡単に解説しつつ、変化の方向性を考え、ライフプランの材料となるような話題を提供する。			
B-10	川崎 一泰	カワサキ カズヤス	総合政策学部教授〔講師紹介はこちら〕
講 演 形 式 : 【対面】 【オンライン】			
AI、DXとどう付き合うか ―働き方の変化と今後求められる改革― [講演概要] 人手不足が深刻化する中で、AI、DXなどを活用したサービス展開が進められている。こうしたICT化で人の仕事が奪われるという声も上がるが、その時に人間がやるべき仕事とはないかが大事である。そうした一連の技術革新と働き方を捉えつつ、今後求められる改革はどうあるべきかを考える。			

【国際・グローバル化】

C-1	古賀 光生	コガ ミツオ	法学部教授 [講師紹介はこちら]
講演形式：【対面】【オンライン】			
ポピュリズムに揺れる西欧政治 ーなぜ、ポピュリスト政党は支持されるのかー [講演概要] 西欧の政党政治は動揺の渦中にあります。2024年には、フランスとドイツで内閣が不信任され、ドイツでは総選挙が予定されています。こうした動揺の背景には、各国でのポピュリスト政党の台頭による連立基盤の不安定化があります。本講演では、ポピュリスト政党の台頭の背景を確認し、それらが政治に及ぼす影響を検討します。特に、グローバル化の及ぼす影響を中心に考えることで、日本の将来への示唆を考察します。			
C-2	深町 英夫	フカマチ ヒデオ	国際経営学部教授 [講師紹介はこちら]
講演形式：【対面】【オンライン】			
中国の将来 日本の針路 ー150年の歴史から考えるー [講演概要] 約半世紀におよぶ中国の飛躍的な発展は、昨今の「一帯一路」「海洋強国」といったスローガンに見られるように、国際秩序の再編を促しつつあります。これは歴史的な中華帝国の再興と見なされることもありますが、千数百年にわたり隣国であった日本にとっては、きわめて重要な意味を持つ趨勢です。相互に強く影響しあってきた約150年におよぶ近現代史を踏まえて、両国の今後について巨視的に考えます。			
C-3	深町 英夫	フカマチ ヒデオ	国際経営学部教授 [講師紹介はこちら]
講演形式：【対面】【オンライン】			
中国政治体制100年 ーなぜ共産党の統治は強靱なのかー [講演概要] 近年、G7をはじめとする西側諸国では自由民主主義の危機が叫ばれる一方、中国ではコロナ禍や経済減速を経ても、共産党の統治が動揺することなく強靱さを示しています。その理由を、数千年におよぶ王朝支配の歴史を持つ中国人が、近代文明に対応しうる政治体制を模索してきた、1世紀あまりにおよぶ歴史的経緯から探ります。			
C-4	深町 英夫	フカマチ ヒデオ	国際経営学部教授 [講師紹介はこちら]
講演形式：【対面】【オンライン】			
台湾海峡問題とは何か ーその歴史的な背景ー [講演概要] 昨今しばしば日本でも「台湾有事」が話題になりますが、そもそも海峡をはさんだ中国大陆と台湾との関係が、なぜ・どのように国際問題となったのでしょうか。台湾海峡問題は日本にとって、どのような意味を持つのでしょうか。海峡兩岸の複雑な関係を、その歴史的背景から探ります。			

【ICT・科学・環境】

D-1	工藤 裕子	クドウ ヒロコ	法学部教授 [講師紹介はこちら]
講演形式：【対面】【オンライン】			
生成AIとは何か ー実は長いAIの歴史と今後の展望ー [講演概要] ChatGPTなどの「生成AI」の話題を聞かない日はないくらい、最近は生成AIの話で溢れている。しかし、生成AIが従来のAIとどのように異なるのか、どのような特徴があり、何が出来るのか、限界は何か、などについて意外と知られていないことも多い。生成AIは万能ではなく、出来ないことや苦手なこともある。そもそも生成AIとは何か、生成AIによって可能となる技術やサービスにはどのようなものがあるか、課題や危険性はないのか、などについて考える。			
D-2	工藤 裕子	クドウ ヒロコ	法学部教授 [講師紹介はこちら]
講演形式：【対面】【オンライン】			
AI&ビッグ・データ時代のプライバシー ープラットフォームと個人情報保護ー [講演概要] GAFAなどのプラットフォームが提供するサービスを使わない日はないという向きも多いであろうが、その際、自らの個人情報やプライバシーをどれだけ意識しているだろうか。デジタル化、特にAIやビッグ・データの急激な発展は、個人のライフスタイルのみならず、経済や産業のあり方をも変えつつある。このような時代に求められるデジタル・リテラシーとして、個人情報やプライバシーの保護の必要性や方法について考える。			
D-3	洞澤 秀雄	ホラサワ ヒデオ	法学部教授 [講師紹介はこちら]
講演形式：【対面】【オンライン】			
再エネ発電施設の立地をめぐる法 ー洋上風力発電を中心にー [講演概要] 今後の再エネ発電として、洋上風力に注目が集まり、実際にいくつかの地域で事業に向けて手続が進められている。陸上の風力発電所と異なり、洋上での風力発電所では、こうした洋上風力に係る法状況について、先進的なイギリス法を参照しながら、また、講演をする地域での状況にも合わせながら、環境法・行政法の観点から考察してゆく。			
D-4	大石 克嘉	オオイシ カツヨシ	理工学部教授 [講師紹介はこちら]
講演形式：【対面】【オンライン】			
地球環境と二酸化炭素排出量の問題・関係 ーこの問題を考える前に、私達が知っておくべき事ー [講演概要] 本講演では、CO2を吸収する物質(材料)について説明をしますが、その前に、“そもそも、なぜCO2の排出量が増加の一途をたどるのか？”について考えてみた上で、実際にCO2を吸収・分離・回収する方法を説明後、回収されたCO2の廃棄場所(捨て場所)や少しの使用方法を紹介します。			

D-5	小松 晃之	コマツ テルユキ	理工学部教授【講師紹介はこちら】
講 演 形 式 : 【対面】			
人工血液開発の最前線			
[講演概要]			
少子高齢化がこのまま進行すると、2035年には年間約46万人の献血者が不足すると予測されている。もし、血液型がなく長期保存可能な人工血液が実現すれば、輸血治療を補完するための医療対策の一環となるばかりでなく、大規模災害時に備えた危機管理の主要施策ともなり、人類に大きな貢献をもたらすことは間違いない。講演者が展開している、人工血液開発の最前線について解説したい。			
D-6	田口 善弘	タグチ ヨシヒロ	理工学部教授【講師紹介はこちら】
講 演 形 式 : 【対面】【オンライン】			
知能とはなにか			
ーヒトとAIのあいだー			
[講演概要]			
2025年1月に表記のタイトルを講談社現代新書よりリリース予定です。内容は現在一世を風靡しているChatGPTなどのいわゆる生成AIと人間の知能はどう違うのかを、20世紀末に物理学でさかんに研究された非線形非平衡多自由度系の観点から議論し、生成AIと人間の知能は現実のシミュレーターであり、似て非なるものではあるが、同じものではなく、したがって、生成AIが自我や意識を持つことは期待できないことまでを議論する。			
D-7	田口 善弘	タグチ ヨシヒロ	理工学部教授【講師紹介はこちら】
講 演 形 式 : 【対面】【オンライン】			
AI(人工知能)の過去・現在・未来			
ーAIは人間を超えるのかー			
[講演概要]			
いわゆるAIが世間を席卷している。AIはプロ棋士に勝利し、白黒写真に色をつけ、自動運転さえ可能にする。将来、人類の職業の多くがAIに奪われるという予測もある。このような情報が氾濫する一方でAIが実際にどのような原理で動いており、何ができて何ができないかの情報は乏しい。いわゆるAIと呼ばれているものの実態を解き明かし、AIに何ができて何ができないかの判断を個々人ができるように解説することを目指す。			
D-8	田口 善弘	タグチ ヨシヒロ	理工学部教授【講師紹介はこちら】
講 演 形 式 : 【対面】【オンライン】			
はじめての機械学習			
ー中学数学で分かるAIのエッセンスー			
[講演概要]			
2021年7月に表記の様なタイトルの本をブルーバックスから出版したのでそれについて講演を行う。「飛躍的な進歩を遂げている機械学習を、難解な数式・プログラミングなしで解説する画期的入門書! 中学数学の知識だけでAIのエッセンスがわかる。近年、著しい進歩を続ける機械学習。今後のビジネスや研究を続けていくうえでもはや無視できない存在になりつつある「機械学習」だが、言葉ばかりが先走りして、その本質を理解している人はごくわずかだ。「機械学習」とはいかなるものか、なぜ、近年飛躍的な進歩を遂げることができたのか。			

D-9	田口 善弘	タグチ ヨシヒロ	理工学部教授【講師紹介はこちら】
講 演 形 式 : 【対面】【オンライン】			
生命はデジタルでできている —情報から見た新しい生命像— [講演概要] 2020年5月に表記のようなタイトルの本をブルーバックスから出版したのでそれについて講演を行う。「いま、生物学の分野で静かな革命が進行しつつある」、と言ったら読者の皆さんは驚くだろうか？ その生物学の分野とは、ゲノム科学である。なんだがすごいことがこの分野で起きているっぽい。だが、なぜ、『突然』こんなことになっているのか？ その疑問に答えてくれる報道は少ない気がする。本書の目的はそれを少しでもわかりやすく説明することにある。			
D-10	田口 善弘	タグチ ヨシヒロ	理工学部教授【講師紹介はこちら】
講 演 形 式 : 【対面】【オンライン】			
学び直し高校物理 — 挫折者のための超入門 — [講演概要] 2024年2月に表記の本を講談社現代新書から出版し、5刷2万1千部の出版部数を達成した。内容は高校で物理を学んで苦い思いをした人、怖くて学ばなかった人のリハビリテーションを目指すことである。今一度、高校の物理に向き合ってコンプレックスを解消したいという皆様、ぜひ、機会をお与えください。			
D-11	竹内 文乃	タケウチ アヤノ	理工学部准教授【講師紹介はこちら】
講 演 形 式 : 【対面】【オンライン】			
歴史に学ぶ、健康や病気にまつわるエビデンスの確立と統計学 — 大航海時代からCOVID-19まで — [講演概要] 大航海時代には壊血病、江戸時代や明治時代の脚気、ロンドンのコレラ、そして現代でも大気汚染やCOVID-19。世界的な病気の蔓延の原因は菌やウイルスであったり栄養不足であったりしました。病気の原因を特定したり予防法を確立してきた陰には常に実用学問である統計学の存在があり、それらは現在のデータサイエンス・AI時代に繋がってきたと考えられます。その歴史の一端を紐解き来るべき未来を垣間見ていきます。			
D-12	谷下 雅義	タニシタ マサヨシ	理工学部教授【講師紹介はこちら】
講 演 形 式 : 【対面】【オンライン】			
備災：10のキーワード —能登半島地震・中央大学ボランティアセンターの活動紹介とともに— [講演概要] 阪神淡路大震災から30年、気候変動の影響もあり、台風等に伴う豪雨災害も世界的に激甚化・頻発化している。2024年、能登では地震と豪雨という2度の災害が生じ、多数の道路閉塞・断水が生じ、東日本大震災以降最大の276名の関連死者数となった。中央大学では多くの教員・卒業生が支援また調査研究活動を、またボランティアセンター（ボラセン）では、3月以降4回、2泊3日のプログラムで支援活動を行ってきた、本講演では、備災に関する10のキーワードそしてボラセンの活動、学生の成長について紹介する。			

D-13	戸井 武司	トイ タケシ	理工学部教授「講師紹介はこちら」
講 演 形 式 : 【対面】【オンライン】			
生活における「音」の効果 —不快な騒音を快適な快音に変える音創り— [講演概要] 生活に身近な「音」は、機械などの不快な“騒音”と、音楽などの人を快適にする“快音”がある。静粛な生活環境になり「音」が着目される機会が増えている。ここでは、発生メカニズムから快適な「音」に変える快音化技術まで、最新の具体的な研究事例を交えてわかりやすく解説する。また、生活空間、オフィス空間や医療環境を快適にする取り組みや、「音」で付加価値をつけ家電製品や自動車の商品性を高める質感の高いものづくりについても紹介する。			
D-14	生田目 崇	ナマタメ タカシ	理工学部教授「講師紹介はこちら」
講 演 形 式 : 【対面】【オンライン】			
マーケティングとDX [講演概要] DX（デジタルトランスフォーメーション）は、デジタル技術により、ビジネスプロセス・文化・顧客体験を新たに創造して、変化し続けるビジネスや市場の要求を満たすプロセスです。この背景には、ビッグデータやIoT、データサイエンスなどによる高度なデータ処理・分析技術があります。本講演では、特にマーケティングにおけるDXについてその現状と課題について論じます。			

【地域・社会・政治】

E-1	工藤 裕子	クドウ ヒロコ	法学部教授【講師紹介はこちら】
講演形式：【対面】【オンライン】			
ポピュリズムはなぜ世界中で台頭するのか ―諸国の政権と選挙から考える実態と課題― [講演概要] アメリカのみならず、欧州、南米、アジアなど、世界中でポピュリズムの勢いが止まらない。そもそもポピュリズムとは何か。なぜポピュリズムは台頭するのか。世界最大規模の「選挙イヤー」だった2024年の諸外国の選挙および政局情勢を踏まえ、世界のポピュリズム政治家、政権の実態と課題を考える。			
E-2	工藤 裕子	クドウ ヒロコ	法学部教授【講師紹介はこちら】
講演形式：【対面】【オンライン】			
メガ・イベントとは何か ―Expo 2025 大阪・関西万博の年だからこそ考える大型イベントの意味― [講演概要] 今年は大阪・関西万博開催年だが、建設費の大幅な増大や出展国の減少、入場券販売の低迷、財政問題などさまざまな問題点が露呈しており、批判的、否定的な世論が高まっている。万博は、ワールドカップやオリンピックなどのスポーツ・イベントとともにメガ・イベントといわれるものの一つであり、インフラ整備や観光需要などの経済効果が期待され、開催都市や国家の象徴ともなり得るが、最近では立候補都市の撤退も見られる。近年の万博、昨年のパリ五輪などの分析と合わせ、今後のメガ・イベントの意味を考える。			
E-3	工藤 裕子	クドウ ヒロコ	法学部教授【講師紹介はこちら】
講演形式：【対面】【オンライン】			
ポスト・コロナの観光のあり方とは ―持続可能な農泊は、旅行の価値観や農村・農業を変えるか― [講演概要] インバウンド観光に沸く日本であるが、政府が平成29年度から、農林水産省の農山漁村振興交付金による農泊推進支援を始めたことはあまり知られていない。そこで、80年代に農泊「アグリトゥリズム」を導入し、ホスピタリティの新しい形として社会的・経済的に確立させたのみならず、自然と共生する持続可能なライフスタイルの提案を通じ、地域および訪れる人々の価値観や選択にも大きな影響を与えてきたイタリアの分析から、日本における農泊の可能性を考える。			
E-4	古賀 光生	コガ ミツオ	法学部教授【講師紹介はこちら】
講演形式：【対面】【オンライン】			
現代の政党が抱える課題 ―SNS時代に政党が果たすべき役割とは何か― [講演概要] これまで政党の仕事とされた作業の多くは、技術の革新もあって外部の専門家に委託可能になりました。特に政治的なコミュニケーションはSNSの発達によって劇的に変わりつつあり、従来のやり方は通用しづらくなっています。この講演では国際比較を用いながら政党の役割の歴史的な変遷を確認します。そのうえで、今なお重要な役割として候補者のリクルーティングと政治的な社会化機能を指摘しつつ、政党の将来像を展望します。			

E-5	山崎 朗	ヤマサキ アキラ	経済学部教授【講師紹介はこちら】
講 演 形 式 : 【対面】【オンライン】			
高度国防国家の構想 [講演概要] 国土計画は、ドイツにおいて高度国防国家のための国の形の検討から開始された。戦後日本においては、地政学や高度国防国家について論じることは意識的に避けられてきたが、国際情勢が不安定化を増すなかで、地政学に関する著作も急激に増加している。高度国防国家は、特定都市への過度集中の排除と都市間的高速交通ネットワークの形成を基盤としており、平和時における国土構造の形成と共通点を有している。			
E-6	手計 太一	テバカリ タイチ	理工学部教授【講師紹介はこちら】
講 演 形 式 : 【対面】【オンライン】			
新しい治水政策「流域治水」から地域の将来を考える [講演概要] 令和3年、「特定都市河川浸水被害対策法等の一部を改正する法律（いわゆる流域治水関連法）」が公布、施行されました。流域治水はこれまでの河川整備に加えて、住民や民間事業者なども含めたあらゆる関係者に協力を求め、河川計画、水防計画、そして地域計画・都市計画を一体に考える方向への大きく舵を切った政策です。しかし、3年経った現在、理想通りに進んでいる流域はほとんどありません。新しい治水政策の課題や問題点を通して、皆さんに地域の将来について考えていただきます。			
E-7	天田 城介	アマダ ジョウスケ	文学部教授【講師紹介はこちら】
講 演 形 式 : 【対面】			
超高齢社会・人口減少社会における社会設計のあり方 ーポスト経済成長時代における支え合いと分配の再構築ー [講演概要] ポスト経済成長時代／低成長時代にあって超高齢化・人口減少化が進行する私たちの社会においては社会のあり方それ自体が根本的に問い直されてきている。特に、団塊世代をはじめとするベビーブーム世代の高齢化・長寿化が起こると同時に、少子化時代の若者たちの生活・雇用が不安定化するなかで、私たちは「人口増加」と「経済成長」を前提にした分配や支え合いのあり方を劇的に変容することが強く求められている。今日、私たちはいかにして新たな社会設計をデザインすることができるのかを具体的に検討する。			
E-8	天田 城介	アマダ ジョウスケ	文学部教授【講師紹介はこちら】
講 演 形 式 : 【対面】			
現代日本社会における高齢者介護の変容 ー「人生100年時代」における高齢者と家族ー [講演概要] この4半世紀で日本の高齢者介護のあり方は大きく変容した。特に、超高齢化・長寿化を背景に家族のあり方が大きく変化すると同時に、介護保険制度の創設・改革を通じてサービス調達のあり方自体も劇的に変容した。その結果、今日においては、単身世帯や高齢夫婦世帯の急増に加えて、シングルの成人子（息子・娘）との同居も増加した。また、家族をとりまく問題も大きく様変わりした。こうした高齢者介護の大きな歴史的変容を報告すると同時に、私たちの社会においてどのような制度設計が求められているのかを検討する。			

E-9	天田 城介	アマダ ジョウスケ	文学部教授 [講師紹介はこちら]
講 演 形 式 : 【対面】			
ケアの現場で働くということ ー超高齢社会・人口減少社会における高齢者ケアの現場の苦悩と葛藤ー [講演概要] 超高齢社会・人口減少社会において「高齢者ケア」と呼ばれる現場で働く人たちは、長期において長寿化した単身高齢者の支援や複雑な問題を抱える家族への関わりを続けると同時に、個人や家族のきわめてプライベートな領域にも踏み込まざるを得ない状況にある。実際に、家族をめぐる貧困・暴力・虐待などのケースへの関わりの中でケアの現場で働く人たちは幾重にも深い苦悩と葛藤を経験しておる。このような高齢者ケアの現場がどのような歴史的・社会的背景のもとで生まれてきたのか、そのような状況を踏まえていかに制度設計をするべきかを探る。			
E-10	天田 城介	アマダ ジョウスケ	文学部教授 [講師紹介はこちら]
講 演 形 式 : 【対面】			
超高齢化・人口減少社会における地方の現実 ー「地方創成」時代における新たな地域社会のあり方ー [講演概要] 今日における「地方創成」時代においては未曾有の超高齢化・人口減少化のもとでどのような自治体政策を打ち出すのが切実な問いになっているが、そもそも地方において起こっている現実がなにゆえ生じているのか、それはどのような歴史的・時代的な背景のもとで作り出されてきたのか、私たちの社会は以下にあるべきであるのか等が問われることもなく、ただ政策議論に終始している。本講義では社会学の視点から超高齢化・人口減少社会における地方の現実を分析し、社会システムのあり方自体を再考することを提示する。			
E-11	天田 城介	アマダ ジョウスケ	文学部教授 [講師紹介はこちら]
講 演 形 式 : 【対面】			
ポスト経済成長時代における超高齢社会・人口減少社会における「貧困」の現実 ー戦後日本型生存保障システムから排除された人たちー [講演概要] 現代日本社会における高齢者はひとくくりに「高齢者」と呼べないほどきわめて多様化している。とりわけ、ポスト経済成長時代／低成長時代にあつては高齢者の経済的格差はきわめて大きく、それぞれの生活も一枚岩に語ることができないのが実情である。今日、貧困状況に置かれている高齢者はどのような人たちであり、なにゆえ貧困状況に陥ってしまうのか、こうした問題を解決するために私たちはいかにして新たな制度設計を創り出していくことができるのかを具体的に検討する。			
E-12	小野 潮	オノ ウシオ	文学部教授 [講師紹介はこちら]
講 演 形 式 : 【対面】			
パリ国際大学都市 ー世界に類例のない場所ー [講演概要] パリ国際大学都市はセーヌ川左岸に位置し各国から来た学生が集団で居住する施設です。第一次大戦後に、将来の戦争の防止には次代の指導者が青年時から互いに親しむことが必要という考えから構想・実現されました。ここには日本館があり、多くの大学院生、研究者が恩恵を受けてきました。中央大学との縁も深く、5人の中央大学教員が同施設の館長を務めています。この他に類例がなく、魅力に満ち満ちた施設をご紹介します。			

E-13	安野 智子	ヤスノ サトコ	文学部教授【講師紹介はこちら】
講 演 形 式 : 【対面】【オンライン】			
世論調査から見る世界と日本人			
ー世界の人の価値観と、海外に関する日本人の知識ー			
[講演概要]			
「日本人は集団主義」「日本人は勤勉」と一般には信じられていますが本当でしょうか？この講義では、世界価値観調査などの国際比較調査と講師自身が実施した調査の結果を紹介しながら、日本人と世界の人の意識や価値観を考えます。パソコンかスマートフォンがあれば、その場で簡単な分析をすることも可能です。			
E-14	川崎 一泰	カワサキ カズヤス	総合政策学部教授【講師紹介はこちら】
講 演 形 式 : 【対面】【オンライン】			
人生100年時代の地方創生			
ー地方は本当に弱いのか？ー			
[講演概要]			
少子高齢化が進む中、地域経済が縮小する構造的な問題を抱える地方が多い。こうした地域の課題に対して、国内外の事例などを踏まえつつ、地域創生の仕組みづくりの議論を展開する。東京一極集中問題に代表される出る杭を打つ政策では地方は再生しないことを明らかにしつつ、補助金に頼らない自律的な地域づくりを実情に合わせた地域創生の手立てを考える。また、人生100年時代に地域で活躍する人材と地域の考え方を示す。			

【人文・文化】

F-1	市場 俊之	イチバ トシユキ	商学部教授 [講師紹介はこちら]
講 演 形 式 : 【対面】			
中央大学オリンピック第1号			
ー長距離走者ないしは人力車夫だった田代菊之助の生涯ー			
[講演概要]			
田代菊之助は、中央大学初のオリンピック選手である。アマチュア資格問題の渦中にありながら、1924年パリ大会に出場した。しかし、現地で故障・休養せねばならなくなり、10000mと5000mは棄権した。マラソンに出走したが途中棄権した。また、田代は、大学卒業後に箱根駅伝を2度走っている。1924年パリ大会時ならびに箱根駅伝にフォーカスしながら、どこかミステリアスな中央大学オリンピック第1号の生涯を紹介する。			
F-2	阿部 幸信	アベ ユキノブ	文学部教授 [講師紹介はこちら]
講 演 形 式 : 【対面】			
金印から読み解く中国古代王朝			
[講演概要]			
歴史の教科書でもお馴染みの「漢委奴国王」金印は、2000年以上前に、中国からもたらされたものです。どうして黄金製のハンコが、中国から日本に運ばれたのでしょうか。あの金印の奇妙な形には、いったいどんな意味があるのでしょうか。金印の印面は、なぜ四角いのでしょうか。手のひらに載るほどの小さな金印を手がかりに、中国古代王朝の壮大な世界観を探ります。			
F-3	阿部 幸信	アベ ユキノブ	文学部教授 [講師紹介はこちら]
講 演 形 式 : 【対面】			
ラーメンと人類史			
[講演概要]			
今や世界中で愛されている日本のラーメン。そのルーツが中国にあることはよく知られています。では、スープ麺を丼に盛り付ける料理が、中国で誕生したのはなぜでしょうか。またそれはいつ、どのようにして生み出されたのでしょうか。ラーメンには多くの謎が隠されています。それを読み解くことで、歴史と人間、そして自然環境との深い関係に迫ります。			
F-4	阿部 幸信	アベ ユキノブ	文学部教授 [講師紹介はこちら]
講 演 形 式 : 【対面】			
漢詩と日本人			
ー「風月同天」の東アジアー			
[講演概要]			
漢字や漢語をはじめ、日本は中国から多くの文化を取り入れてきました。中でも漢詩に読み込まれた風物は、日本人の考え方や感じ方に大きく作用し、その影響は現代にも及んでいます。今回は、王維・李白と阿倍仲麻呂の交友の物語をととして、漢詩の中の「月」の描写が日本文化にもたらしたものを読み解きます。			

F-5	阿部 幸信	アベ ユキノブ	文学部教授 [講師紹介はこちら]
講 演 形 式 : 【対面】			
東洋学誕生記			
ー中華まんと宮沢賢治と「中国のルネサンス」ー			
[講演概要]			
「東洋」という言葉は、外国では通じないことをご存じでしょうか。そこには、アジアで最初の近代国家を目指した日本の苦難の歴史と、それが生みだした矛盾と、そしてこれからの日本の可能性とが秘められています。とくに明治から大正にかけての時代を中心に、日本人が「東洋」といかに向きあってきたかを知ること、これからの日本が国際社会で果たすべき役割について考えるヒントをつかみます。			
F-6	大川 真	オオカワ マコト	文学部教授 [講師紹介はこちら]
講 演 形 式 : 【対面】			
日本人の心の原点を知る			
ー神道における「神」観念ー			
[講演概要]			
グローバル化やデジタル化が進むなかで、私たちは案外自分の足下を見ていないことがあります。日本の文化、思想や伝統宗教がそれにあたります。たとえば神社を参拝する際には手や口を清めますが、それはどのような思想や神話に基づくのでしょうか…この講演では、日本人の民族宗教と言われながらも、その教えや歴史が一般の人にはあまり知られていない神道について、基本的な内容をお話しします。			
F-7	小野 潮	オノ ウシオ	文学部教授 [講師紹介はこちら]
講 演 形 式 : 【対面】			
ナポレオンとメディア			
ーナポレオンのメディア利用、メディアのナポレオン利用ー			
[講演概要]			
ナポレオンは自らのイメージを効果的に国民に広めるために複数のメディアを効果的に利用しています。そのメディアは新聞であり、書籍であり、貨幣であり、絵画であり、焼き物等です。他方、さまざまなメディアは、ナポレオンの没落後も、ナポレオンイメージを増幅し続け、それは今日までなお継続され続けています。本講演ではナポレオンとさまざまなメディアの関係を紹介していきます。			
F-8	小野 潮	オノ ウシオ	文学部教授 [講師紹介はこちら]
講 演 形 式 : 【対面】			
ボナパルト家の人びと			
ー光り輝く、そして鬱陶しい兄、あるいは弟ー			
[講演概要]			
ナポレオンは家族の絆の強いコルシカ島出身で、ボナパルト家の人びとは、一族中に彼が出現したがゆえに、波乱の人生をたどります。彼の兄弟は彼を含めて5人いますが、その多くがヨーロッパの国々の国王となるものの、同時にこの強大な人物に振り回されました。彼らの人生をスペイン国王となった兄のジョゼフ、兄弟中唯一国王にならなかったリュシアン、伯父の遺産を生かし後に皇帝となったナポレオン三世を核に紹介します。			

F-9	小林 謙一	コバヤシ ケンイチ	文学部教授 [講師紹介はこちら]
講 演 形 式 : 【対面】 【オンライン】			
遺跡発掘でさぐる縄文の暮らし —あなたの地域の縄文時代— [講演概要] 最新の研究から、縄文文化の始まりは15,000年以上前の氷河期に遡り、世界初の土器出現地の一つであることがわかりました。三内丸山遺跡のように、芸術性に富んだ土器文化を持ち、世界的にも例がない1万年以上の長さをもって日本列島に栄え、現代でも復元できない漆加工技術や木工技術がありました。日本文化の基盤となる縄文文化について、中央大学が調査した事例やあなたの地域の縄文遺跡を含めて、最新研究を紹介します。			
F-10	小林 謙一	コバヤシ ケンイチ	文学部教授 [講師紹介はこちら]
講 演 形 式 : 【対面】 【オンライン】			
考古学からみた邪馬台国論争 —卑弥呼の墓はどこか？— [講演概要] 炭素14年代測定や年輪年代の研究が進み、弥生、古墳時代の年代が定説よりも古い可能性がでてきました。弥生時代から古墳時代へと移る画期となる最古の前方後円墳である箸墓古墳が3世紀中頃となる可能性が示され、卑弥呼の墓かと注目されています。近年では纏向遺跡から宮殿跡らしき建築物の跡もみつかっています。一方、鉄の出土量などからは吉野ヶ里遺跡に代表される九州説も否定できません。日本古代国家形成に関わる邪馬台国論争について考古学的にさぐります。			
F-11	小林 謙一	コバヤシ ケンイチ	文学部教授 [講師紹介はこちら]
講 演 形 式 : 【対面】 【オンライン】			
災害の考古学 —災害史研究および復興支援の一環として— [講演概要] 2011年の東日本大震災は大変な災害でした。考古学的調査でも過去の地震・津波・洪水・火山噴火など災害痕跡が検出され、災害史研究として深められつつあり、将来の災害予防に貢献できるはずです。また、福島・岩手では復興が今も進められていますが、その中には文化財調査も関わっています。遺跡調査は復興の妨げにならないような様々な工夫がなされ、全国の支援を受けつつ進められていますが、そのなかでも東北地方の歴史に関わる重要な発見が次々とされています。			
F-12	小林 謙一	コバヤシ ケンイチ	文学部教授 [講師紹介はこちら]
講 演 形 式 : 【対面】 【オンライン】			
前期旧石器ねつ造事件と日本考古学 [講演概要] 2000年11月に、日本考古学最大の汚点と今も言われる、「前期旧石器ねつ造事件」が発覚しました。そのねつ造事件の経緯、背景、影響、原因を改めて検討するとともに、日本考古学の問題であった点を取り上げ、反省の上に立ったその後の取り組み、さらには前期旧跡研究の現状について解説します。			

F-13	小林 謙一	コバヤシ ケンイチ	文学部教授【講師紹介はこちら】
講 演 形 式 : 【対面】【オンライン】			
考古遺跡にみる世界遺産 [講演概要] 「北海道・北東北の縄文遺跡群」が2021年に世界文化遺産に登録されました。そのほかにも日本には多くの考古遺跡があり、石見銀山、平泉、沖ノ島、百舌鳥・古市古墳群、佐渡金山などが世界遺産に登録されています。それらの内容を解説するとともに、世界遺産のメリット・デメリットや世界遺産への道筋などについて検討してみたいと思います。			
F-14	辻 泉	ツジ イズミ	文学部教授【講師紹介はこちら】
講 演 形 式 : 【対面】【オンライン】			
「推し活」の文化社会学 ー若者たちは「推し」に何を求めているのか？ー [講演概要] 近年注目を集めている「推し活」について、若者たちがそれに何を求めているのか、文化社会学的な視点から読み解きます。実際の調査データを紹介しながら、具体的な事例なども豊富に織り込みつつ、わかりやすくその社会背景をお話しする予定です。			
F-15	辻 泉	ツジ イズミ	文学部教授【講師紹介はこちら】
講 演 形 式 : 【対面】【オンライン】			
僕らはなぜ鉄道が好きなのか？ ー想像力の社会史ー [講演概要] 日本が世界に誇るファン文化と言える鉄道趣味。その社会背景について、文化社会学的な視点から読み解きます。具体的な事例を豊富に織り込み、歴史的にも遡りながら、その来し方を辿ります。もちろん鉄道ファン以外の方にもわかりやすくお話ししますのでご心配はいりません。			
F-16	辻 泉	ツジ イズミ	文学部教授【講師紹介はこちら】
講 演 形 式 : 【対面】【オンライン】			
若者の「地元志向」を考える ー変わりゆく若者文化の社会学ー [講演概要] 若者文化において、2000年代以降注目を集めてきた現象の一つに「地元志向」があります。大都市に大きな憧れを抱かずに、地元のつながりや文化を重視する傾向をいいます。この講演では、実際の調査データを用いつつ、過去20年間に渡る現象の変化も追いながら、その行方について展望します。			
F-17	西川 広平	ニシカワ コウヘイ	文学部教授【講師紹介はこちら】
講 演 形 式 : 【対面】【オンライン】			
文化遺産と博物館 ー地域活性化に向けたビジョンー [講演概要] 歴史や文化に関わる調査研究や資料収集・保存、展示、教育普及等の事業活動を行う社会教育施設である博物館は、この十数年間に財政削減や人員不足等により厳しい運営を迫られてきました。この一方、地域創成がクローズアップされる現在、地元へ伝来する文化遺産の活用をとおして、地域社会の活性化に向けた新たな役割が博物館に期待されています。本講演では、博物館における新たな取り組みの事例を紹介します。			

F-18	西川 広平	ニシカワ コウヘイ	文学部教授 [講師紹介はこちら]
講 演 形 式 : 【対面】【オンライン】			
記録された災害史 ー地震・噴火と日本列島の社会ー [講演概要] 近年、地震・噴火・風水害等、大規模な自然災害が相次いで発生する中、災害のシステムや避難・復興への対応を学ぶため、過去に発生した災害の記録が注目されています。それでは、こうした記録がどのように作成され、後世に語り継がれてきたのでしょうか。本講演では、南海トラフを震源域とする大規模地震（東海地震等）や富士山の噴火災害の歴史とともに、その記録が作成・継承された状況を紹介し、この問題について探ります。			
F-19	西川 広平	ニシカワ コウヘイ	文学部教授 [講師紹介はこちら]
講 演 形 式 : 【対面】【オンライン】			
水資源の歴史学 ー治水と利水をめぐってー [講演概要] 近年、相次いで日本列島の各地を暴風雨が襲い、大規模な洪水が発生して甚大な被害が発生している一方、私たちの生活や産業は、豊富な水資源によって支えられています。このように水資源は現代社会に大きな影響を及ぼしていることは言うまでもありません。水資源と人々との関わりの歴史を紐解くと、現代とは異なった考え方や取り組みを発見できます。本講演では、中世・近世における治水と利水の歴史を通して、自然と人々の生活との共存について考えます。			

G-1	戸井 武司	トイ タケシ	理工学部教授【講師紹介はこちら】
講 演 形 式 : 【対面】【オンライン】			
聴覚の謎に迫る！ 一年齢により聞こえ方は異なるー [講演概要] 子供の聞こえ方は大人と何が異なるか、高齢になると聞こえ方がどのように変化するかなど生活に身近な聴力についてわかりやすく解説する。また、聴力の変化に対応して、生活空間における音環境を変えることで、生活を豊かにする「音」の魅力についても紹介する。			
G-2	大川 真	オオカワ マコト	文学部教授【講師紹介はこちら】
講 演 形 式 : 【対面】			
「底の抜けた社会」にどう向き合うべきか ー日本の伝統思想と道徳心ー [講演概要] 現代では毎日のように耳を疑うようなニュースを目にし、耳にします。いわゆる「闇バイト」による強盗致傷、SNSでの誹謗中傷、モラルを明らかに逸脱した政治家の言動…悲観的な思いに駆られることも多いなかで、私たちの先人たちが社会を築き維持するために、どのような道徳を説いたのでしょうか。神道、仏教、儒教などの伝統思想から、今を生きる知恵を探っていきます。			
G-3	安野 智子	ヤスノ サトコ	文学部教授【講師紹介はこちら】
講 演 形 式 : 【対面】【オンライン】			
身近な社会心理学（１） ー世界は歪んで見えている？ 日常に潜む認知的バイアスー [講演概要] 私たちにはものの見方にクセがあります。これを認知的バイアスといいます。たとえば、「この人はエリートです」と紹介されると、エリートらしいところばかり目についてしまうようになります（確証バイアス）。「この金融商品で儲かった人」の事例を複数紹介されると、きっと儲かるに違いないと信じてしまいます（共変性の誤認知）。いますぐもらえる１０万円は、１年後の１２万円より魅力的です（双曲割引）。この講演では、日常生活に潜む私たちの様々な認知的バイアスを紹介していきます。			
G-4	安野 智子	ヤスノ サトコ	文学部教授【講師紹介はこちら】
講 演 形 式 : 【対面】【オンライン】			
身近な社会心理学（２） ー同調圧力と集団の社会的影響ー [講演概要] 私たちは、納得できないことでも、「偉い」人の指示には従ってしまうことがあります。自分が少数派だと思えば、口をつぐんでしまうこともあります。このような同調圧力は日本社会だけのものではなく、人間社会のいたるところで見られます。しかし、「多数派に見える」ものが必ずしも現実には支持を得ているとは限りません。また、強い同調圧力は、組織のマネジメントに悪影響をもたらします。この講演では、集団の影響に関する社会心理学的研究をご紹介します。健全な組織の在り方について考えていきます。			

【ビジネス】

H-1	三浦 俊彦	ミウラ トシヒコ	商学部教授 [講師紹介はこちら]
講演形式：【対面】			
個人の強さと組織の弱さ —日本消費者・日本企業の特徴を、奈良・平安の歴史的起源から考える— [講演概要] 日本の消費者は、世界一品質に厳しく、デザインやイメージも重視し、日本の技術者は、カイゼンのPDCAを回し続けて、匠の技を極めます。一方、そんな日本の消費者も世間の流行に流されますし、日本の企業トップは、有能な技術者・社員に大きな方向性を示せません。「個人の強さと組織の弱さ」という、コロナ禍でも垣間見えた日本の特徴を、奈良・平安の起源から説き起こし、これからの処方箋を提示します。			
H-2	三浦 俊彦	ミウラ トシヒコ	商学部教授 [講師紹介はこちら]
講演形式：【対面】			
日本マンガ・アニメの強さの秘密 —世界を制した戦略と歴史的伝統— [講演概要] 「ONE PIECE」が最多発行コミックとして2015年にギネス認定されたように、日本マンガ・アニメは世界を席巻しています。20世紀は米ディズニーの時代でしたが、21世紀は日本マンガ・アニメの時代のようなようです。この状況を、手塚治虫以来の日本マンガの革新、奈良・平安から江戸期に連なる日本人の美意識の伝統、さらにマンガ週刊誌・毎週放送TVアニメというフォーマット（規格）の確立の視点から、欧米とも比較しながら分析することによって、日本マンガ・アニメの強さの秘密に迫ります。			
H-3	三浦 俊彦	ミウラ トシヒコ	商学部教授 [講師紹介はこちら]
講演形式：【対面】			
日本の消費者はなぜ品質に厳しいのか —モノづくり大国日本の歴史的分析とこれからの戦略— [講演概要] 日本の消費者が品質に厳しいことは世界的に有名ですが、何故そうなったのでしょうか。その理由を奈良・平安まで遡り、欧米と比較しながら、歴史的に論証し、それが世界に冠たる日本のモノづくり大国を生み出したことを説明します。一方で、過剰品質のガラパゴス化や長時間労働という問題点も起きており、それらへ向けてのマネジメント的処方箋も提言します。			
H-4	三浦 俊彦	ミウラ トシヒコ	商学部教授 [講師紹介はこちら]
講演形式：【対面】			
クールジャパンの起源に迫る —日本人の美意識の歴史的分析とこれからの戦略— [講演概要] これまで日本は自動車や家電などを代表にモノづくり大国と呼ばれていましたが、近年はアニメやゲームなど、モノではなくソフトにも世界が注目し、クールジャパンと呼ばれています。これは19世紀末の欧州で浮世絵などが流行したジャポニズムを彷彿とさせますが、このような日本人の美意識のルーツを奈良・平安までたどり、欧米と比較しながら論証します。またこれからのクールジャパン戦略も提言します。			

【その他】

I-1	安野 智子	ヤスノ サトコ	文学部教授 [講師紹介はこちら]
講 演 形 式 : 【対面】【オンライン】			
文系のためのデータ分析入門 ーExcelで相関分析と回帰分析をやってみようー [講演概要] 近年、データに基づいて考える「データサイエンス」が各方面で注目されています。データ分析というと、理系の学問という印象が強いかもしれませんが、経済学や政治学、社会学、心理学、マーケティングなど、文系とされる学問領域やビジネスでも広く用いられています。この講演では、Excelを使って、「散布図の作成」「相関分析」「回帰分析」に取り組みます。データを配布し、講演中に各自で分析作業を行いますので、Excelで使えるパソコンをご持参ください。			
I-2	松野 良一	マツノ リョウイチ	国際情報学部教授 [講師紹介はこちら]
講 演 形 式 : 【対面】			
終戦80年：特攻と中央大学 ー11人の中大学徒特攻兵はどう生き、どう散っていったかー [講演概要] 特攻戦死した中大学徒は、58人（戦艦大和など準特攻を含めると64人）に上っている（松野研究室調べ）。航空特攻のみならず、人間魚雷「回天」、人間爆弾「桜花」、マルレや震洋（小型特攻ボート）などの部隊にも所属していた。うち11人の中大学徒について、生い立ちから中大入学、そして学徒出陣から特攻までの短い人生について、残された遺書、遺影、書簡、そして遺族の証言などから、80年前の時代を振り返り、改めて戦闘と平和について考える。松野ゼミで制作したドキュメンタリー上映あり。			
I-3	米津 孝司	ヨネヅ タカシ	法務研究科教授 [講師紹介はこちら]
講 演 形 式 : 【対面】【オンライン】			
職場におけるコロナワクチン接種と労働法の課題 [講演概要] 新型コロナウイルスワクチンの健康被害が世界各国において報告されるなか、高頻度での接種が行われてきた日本でも、この問題への関心が高まっています。本講演では、世界で進められているワクチンに関する検証作業を紹介しつつ、職場におけるコロナワクチン接種に関連する法的課題を掘り下げます。労働者の健康と権利を守る視点から、労働法がどのように対応すべきかを探ります。			

講師紹介（法学部）

井川 志郎	イカワ シロウ	法学部准教授	[博士（法学）]
講 演 形 式 : 【対面】 【オンライン】			
[テーマ]			
A-1 「ビジネスと人権」と労働法			
[学歴]			
中央大学法学研究科民事法専攻博士後期課程修了(2015/03)			
中央大学法学研究科民事法専攻博士前期課程修了(2012/03)			
中央大学法学部国際企業関係法学科 卒業(2010/03)			
[主な職歴]			
中央大学法学部准教授(2023/04-)			
山口大学経済学部准教授(2019/11-2023/03)			
山口大学経済学部講師(2017/04-2019/10)			
独立行政法人 労働政策研究・研修機構アシスタント・フェロー(2015/04-2017/02)			
[詳細プロフィール]			
https://c-research.chuo-u.ac.jp/html/100004522_ja.html			
工藤 裕子	クドウ ヒロコ	法学部教授	[公共政策学Ph.D.]
講 演 形 式 : 【対面】 【オンライン】			
[テーマ]			
D-1 生成AIとは何か			
D-2 AI&ビッグ・データ時代のプライバシー			
E-1 ポピュリズムはなぜ世界中で台頭するのか			
E-2 メガ・イベントとは何か			
E-3 ポスト・コロナの観光のあり方とは			
[学歴]			
早稲田大学大学院政治学研究科政治学専攻博士後期課程単位取得満期退学(1995/03)			
早稲田大学大学院政治学研究科政治学専攻博士前期課程修了(1992/03)			
早稲田大学政治経済学部政治学科卒業(1990/03)			
[主な職歴]			
中央大学法学部教授(2005/04-)			
早稲田大学教育学部専任講師(2003/04より助教)(1998/04-2005/03)			
愛知淑徳大学現代社会学部専任講師(1995/04-1998/03)			
[詳細プロフィール]			
https://c-research.chuo-u.ac.jp/html/100002834_ja.html			

古賀 光生	コガ ミツオ	法学部教授	[博士(法学)]
講演形式： 【対面】 【オンライン】			
[テーマ]			
C-1 ポピュリズムに揺れる西欧政治			
E-4 現代の政党が抱える課題			
[学歴]			
東京大学法学政治学研究科比較政治学専攻博士後期修了(2012/03)			
東京大学法学政治学研究科総合法政専攻修士修了(2005/03)			
東京大学法学部法律学科政治専攻(第三類)卒業(2003/03)			
[主な職歴]			
中央大学法学部准教授(2016/04-)			
二松学舎大学国際政治経済学部専任講師(2013/04-2016/03)			
立教大学法学部助教(2010/04-2013/03)			
[詳細プロフィール]			
https://c-research.chuo-u.ac.jp/html/100002838_ja.html			
只木 誠	タダキ マコト	法学部教授	[博士(法学)]
講演形式： 【対面】 【オンライン】			
[テーマ]			
A-2 特殊詐欺と刑事法			
A-3 医師によるALS患者殺人事件をめぐって			
A-4 特殊感染症のパンデミックや大規模災害の発生と法			
A-5 医療過誤事例と刑法			
A-6 「犯罪」とはなにか、「刑罰」とは何か			
[学歴]			
中央大学法学研究科刑事法専攻博士後期課程満期退学(1989/03)			
中央大学法学研究科刑事法専攻博士前期課程修了(1984/03)			
中央大学法学部法律学科卒業(1981/03)			
[主な職歴]			
中央大学大学院法学研究科委員長(2023/11-)			
中央大学日本比較法研究所長(2008/11-2014/11)			
中央大学大学院法務研究科教授(2004/04-2014/03)			
中央大学法学部教授(2002/04-)			
獨協大学法学部教授(2000/04-2002/03)			
獨協大学法学部助教授(1995/04-2000/03)			
獨協大学法学部専任講師(1992/04-1995/03)			
[詳細プロフィール]			
https://c-research.chuo-u.ac.jp/html/100002858_ja.html			

橋本 基弘	ハシモト モトヒロ	法学部教授	[博士（法学）]
講 演 形 式 : 【対面】			
[テーマ]			
A-8 陰謀論・フェイクニュースとどう向き合うのか			
[学歴]			
中央大学法学研究科公法専攻博士後期課程単位取得満期退学(1989/03)			
中央大学法学研究科公法専攻博士前期課程修了(1985/03)			
中央大学法学部法律学科卒業（1982/03）			
[主な職歴]			
中央大学副学長(2021/05-)(2014/11-2017/11)			
学校法人中央大学常任理事(2017/11-2020/06)			
学校法人中央大学理事(2017/05-2020/06)			
中央大学法学部長(2009/11-2013/10)			
中央大学法学部教授(2004/04-)			
高知県立高知女子大学文化学部教授(2002/04-2004/03)			
高知県立高知女子大学大学院人間生活学研究科兼務(2001/04-2004/03)			
高知県立高知女子大学文化学部助教授(憲法・法学)(1992/04-2002/03)			
高知県立高知女子大学文学部（現高知県立大学文化学部）専任講師(1991/04-1992/03)			
[詳細プロフィール]			
https://c-research.chuo-u.ac.jp/html/100002883_ja.html			
洞澤 秀雄	ホラサワ ヒデオ	法学部教授	[修士（政治学）]
講 演 形 式 : 【対面】 【オンライン】			
[テーマ]			
A-8 再エネ発電施設の立地をめぐる紛争と法 ー太陽光・風力発電を中心にー			
D-3 再エネ発電施設の立地をめぐる法 ー洋上風力発電を中心にー			
[学歴]			
早稲田大学政治学研究科政治学専修行政法専攻博士後期課程単位取得満期退学(1985/07)			
早稲田大学政治学研究科政治学専修行政法専攻修士課程修了(2000/03)			
上智大学法学部国際関係法学科卒業(1998/03)			
[主な職歴]			
中央大学法学部法律学科教授(2023/04-)			
南山大学法務研究科教授(2019/04-2023/03)			
南山大学法学部教授(2018/04-2019/03)			
南山大学法学部准教授(2012/04-2018/03)			
札幌学院大学法学部 准教授(2000/04-2012/03)			
Associate Professor, Faculty of Law, Sapporo Gakuin University(2009/04-2012/03)			
札幌学院大学(2003/10-2009/03)			
Lecture, Faculty of Law, Sapporo Gakuin University(2003-2009)			
[詳細プロフィール]			
https://c-research.chuo-u.ac.jp/html/100004519_ja.html			

講師紹介（経済学部）

阿部 正浩	アベ マサヒロ	経済学部教授	[博士（商学）]
講演形式： 【対面】 【オンライン】			
[テーマ]			
B-1 高齢期の働き方、過ごし方			
B-2 労働市場の未来予測2035			
[学歴]			
慶應義塾大学大学院商学研究科博士課程満期退学(1995/03)			
慶應義塾大学大学院商学研究科修士課程修了(1992/03)			
慶應義塾大学商学部卒業(1990/03)			
[主な職歴]			
中央大学大学院経済学研究科委員長(2017/11-2021/10)			
中央大学経済学部 教授(2013/04-)			
獨協大学経済学部教授(2008/04-2013/03)			
獨協大学経済学部助教授(2002/04-2007/03、2007/04から准教授)			
獨協大学経済学部専任講師(2000/04-2002/03)			
一橋大学経済研究所 助教授(1998/04-2000/03)			
財団法人電力中央研究所社会経済研究所 主任研究員(1995/04-1998/03)			
[詳細プロフィール]			
https://c-research.chuo-u.ac.jp/html/100002918_ja.html			
近廣 昌志	チカヒロ マサシ	経済学部准教授	[博士（金融学）]
講演形式： 【対面】			
[テーマ]			
B-3 日本銀行の金融政策の「誤解」を解く			
B-4 金利の仕組みを学ぶ			
B-5 日本のピアノ産業の特徴、明治から現在まで			
[学歴]			
中央大学商学研究科商学専攻博士後期課程修了(2011/03)			
中央大学商学研究科商学専攻博士前期課程修了(2005/03)			
中央大学商学部金融学科卒業(2001/03)			
[主な職歴]			
中央大学経済学部准教授(2022/04-)			
愛媛大学法文学部准教授(2017/04-2022/03)			
愛媛大学法文学部専任講師(2012/09-2017/03)			
[詳細プロフィール]			
https://c-research.chuo-u.ac.jp/html/100002962_ja.html			

山崎 朗	ヤマサキ アキラ	経済学部教授	[経済学博士]
講演形式： 【対面】 【オンライン】			
[テーマ]			
B-6 ハイモビリティとローモビリティの対立			
B-7 プレミアムな地域創生			
E-5 高度国防国家の構想			
[学歴]			
九州大学経済学研究科経済工学専攻博士課程単位取得退学(1986/03)			
九州大学経済学研究科経済工学専攻修士修了課程(1983/03)			
京都大学工学部合成化学科卒業(1981/03)			
[主な職歴]			
中央大学評議員(2023/05-)			
中央大学経済学部長(2019/11-2021/10)			
中央大学学長専門員(2015/02-2017/01)			
中央大学経済学部教授(2005/04-)			
九州大学経済学部経営学科長(2004/04-2005/03)			
九州大学大学院経済学研究院産業マネジメント専攻（MBA）教授(2002/04-2005/03)			
九州大学大学院経済学研究院教授(2000/04-2005/03)			
九州大学大学院比較社会文化研究科助教授(1994/04-2002/03)			
九州大学経済学部助教授(1993/04-2000/03)			
[詳細プロフィール]			
https://c-research.chuo-u.ac.jp/html/100002999_ja.html			

講師紹介（商学部）

市場 俊之	イチバ トシユキ	商学部教授	[社会学博士]
講演形式：【対面】			
[テーマ]			
F-1 中央大学オリンピック第1号			
[学歴]			
テュービンゲン大学大学院Institut fur Sportwissenschaft博士課程中退(1993/03) 東京学芸大学教育学研究科修士課程修了(1983/03) 東京学芸大学教育学部特別教科教員養成課程保健体育専攻卒業(1981/03)			
[主な職歴]			
中央大学保健体育研究所長(2021/04-) 中央大学商学部教授(2004/04-) 中央大学商学部助教授(1995/04-2004/03) 中央大学商学部専任講師(1993/04-1995/03)			
[詳細プロフィール]			
https://c-research.chuo-u.ac.jp/html/100003012_ja.html			
三浦 俊彦	ミウラ トシヒコ	商学部教授	[博士（商学）]
講演形式：【対面】			
[テーマ]			
H-1 個人の強さと組織の弱さ H-2 日本マンガ・アニメの強さの秘密 H-3 日本の消費者はなぜ品質に厳しいのか H-4 クールジャパンの起源に迫る			
[学歴]			
慶應義塾大学大学院商学研究科商学専攻博士課程中退(1986/03) 慶應義塾大学大学院商学研究科商業学専攻修士課程修了(1984/03) 慶應義塾大学商学部卒業(1982/03)			
[主な職歴]			
中央大学図書館長(2021/4-) 中央大学企業研究所長(2013/12-2021/03) 中央大学商学部教授(1999/04-) 中央大学商学部助教授(1990/04-1999/03) 中央大学商学部専任講師(1989/04-1990/03) 中央大学商学部助手(1986/04-1989/03)			
[詳細プロフィール]			
https://c-research.chuo-u.ac.jp/html/100003083_ja.html			

講師紹介（理工学部）

大石 克嘉	オオイシ カツヨシ	理工学部教授	[理学博士]
講演形式： 【対面】 【オンライン】			
[テーマ]			
D-4 地球環境と二酸化炭素排出量の問題・関係			
[学歴]			
東北大学理学研究科化学専攻博士後期課程修了(1991/03)			
東北大学理学研究科化学専攻博士前期課程修了(1988/03)			
中央大学理工学部応用化学科卒業(1986/03)			
[主な職歴]			
中央大学理工学部教授(2008/04-)			
中央大学理工学部准教授(2007/04-2008/03)			
中央大学理工学部助教授(1995/04-2007/03)			
(株)東芝研究開発センター材料デバイス研究所第1研究所無機機能性グループ(1991/04-1995/03)			
[詳細プロフィール]			
https://c-research.chuo-u.ac.jp/html/100003115_ja.html			
小松 晃之	コマツ テルユキ	理工学部教授	[博士（工学）]
講演形式： 【対面】			
[テーマ]			
D-5 人工血液開発の最前線			
[学歴]			
早稲田大学理工学研究科応用化学専攻博士後期修了(1994/03)			
早稲田大学理工学研究科応用化学専攻修士修了(1990/03)			
早稲田大学理工学部応用化学科卒業(1988/03)			
[主な職歴]			
中央大学理工学部応用化学科教授(2010/04-)			
シャリテー・ベルリン医科大学 客員教授(2022/04-2022/09)			
早稲田大学 理工学術院総合研究所理工学研究所 准教授(2006/10-2010/03)			
インペリアルカレッジ・ロンドン 客員研究員(2003/11-2010/03)			
早稲田大学 理工学総合研究センター 講師、助教授(1997/04-2006/09)			
[詳細プロフィール]			
https://c-research.chuo-u.ac.jp/html/100003146_ja.html			

田口 善弘	タグチ ヨシヒロ	理工学部教授	[理学博士]
講演形式： 【対面】 【オンライン】			
[テーマ]			
D-6 知能とはなにか			
D-7 AI(人工知能)の過去・現在・未来			
D-8 はじめての機械学習			
D-9 生命はデジタルでできている			
D-10 学び直し高校物理			
[学歴]			
東京工業大学理工学研究科物理学専攻博士後期課程修了(1988/03)			
東京工業大学理工学研究科物理学専攻博士前期課程修了(1986/03)			
東京工業大学理学部応用物理学学科卒業(1984/03)			
[主な職歴]			
中央大学理工学部教授(2006/04-)			
中央大学理工学部助教授(1997/04-2006/03)			
ドイツ連邦共和国 Forschungszentrum Juelich GmbH 研究員(1989/10-1990/09)			
東京工業大学理学部物理学助手(1988/04-1997/03)			
[詳細プロフィール]			
https://c-research.chuo-u.ac.jp/html/100003174_ja.html			
竹内 文乃	タケウチ アヤノ	理工学部准教授	[博士（保健学）]
講演形式： 【対面】 【オンライン】			
[テーマ]			
D-11 歴史に学ぶ、健康や病気にまつわるエビデンスの確立と統計学			
[学歴]			
東京大学医学系研究科健康科学・看護学専攻博士後期中退(2008/03)			
東京大学医学系研究科健康科学・看護学専攻修士修了(2004/03)			
東京大学医学部健康科学・看護学科卒業(2006/03)			
東京大学教養学部理科II類修了(2002/03)			
[主な職歴]			
中央大学理工学部准教授(2022/4-)			
慶應義塾大学医学部衛生学公衆衛生学教室 助教(2014/10-2016/03)			
独立行政法人国立環境研究所環境健康研究センター研究員(2012/05～2014/09)			
東京大学 医学系研究科公共健康医学専攻生物統計学 助教(2008/04～2012/04)			
[詳細プロフィール]			
https://c-research.chuo-u.ac.jp/html/100003175_ja.html			

谷下 雅義	タニシタ マサヨシ	理工学部教授	[博士（工学）]
講演形式： 【対面】 【オンライン】			
[テーマ]			
D-12 備災：10のキーワード			
[学歴]			
東京大学工学系研究科土木工学専攻博士中退(1992/03)			
[主な職歴]			
中央大学理工学部教授(2008/4-)			
中央大学理工学部准教授(2007/04-2008/03)			
同志社大学技術・企業・国際競争力研究センター（ITEC）客員フェロー(2005/01～2008/03)			
中央大学理工学部助教授(1997/04～2007/03)			
[詳細プロフィール]			
https://c-research.chuo-u.ac.jp/html/100003178_ja.html			
手計 太一	テバカリ タイチ	理工学部教授	[博士（工学）]
講演形式： 【対面】 【オンライン】			
[テーマ]			
E-6 新しい治水政策「流域治水」から地域の将来を考える			
[学歴]			
中央大学理工学研究科土木工学専攻博士後期課程修了(2006/03)			
中央大学理工学研究科土木工学専攻博士前期課程修了(2002/03)			
中央大学理工学部土木工学科卒業(2000/03)			
[主な職歴]			
中央大学理工学部教授(2021/04-)			
富山県立大学工学部准教授(2014/04-2021/03)			
富山県立大学工学部講師(2009/04-2014/03)			
福岡大学工学部社会デザイン工学科助教(2007/04-2009/03)			
福岡大学工学部社会デザイン工学科助手(2006/04-2007/03)			
独立行政法人土木研究所水工研究グループ（水理水文）CREST研究員(2002/04-2006/03)			
[詳細プロフィール]			
https://c-research.chuo-u.ac.jp/html/100003187_ja.html			

戸井 武司	トイ タケシ	理工学部教授	[博士（工学）]
講 演 形 式 : 【対面】 【オンライン】			
[テーマ]			
D-13 生活における「音」の効果			
G-10 聴覚の謎に迫る!			
[学歴]			
中央大学大学院理工学研究科精密工学専攻博士後期課程修了(1996/03)			
中央大学大学院理工学研究科精密工学専攻博士前期課程修了(1989/03)			
中央大学理工学部精密機械工学科卒業(1987/03)			
[主な職歴]			
中央大学商議員(2021/10-2025/10)			
中央大学理工学部教授(2004/04-)			
中央大学理工学部助教授(1998/04-2004/03)			
中央大学理工学部専任講師(1996/04-1998/03)			
三菱電機株式会社中央研究所機械技術研究部(1989/04-1993/05)			
[詳細プロフィール]			
https://c-research.chuo-u.ac.jp/html/100003190_ja.html			
生田目 崇	ナマタメ タカシ	理工学部教授	[博士（工学）]
講 演 形 式 : 【対面】 【オンライン】			
[テーマ]			
D-14 マーケティングとDX			
[学歴]			
東京理科大学工学研究科経営工学専攻博士後期課程修了(1999/03)			
東京理科大学工学研究科経営工学専攻修士課程修了(1996/03)			
東京理科大学工学部第一部経営工学科卒業(1994/03)			
[主な職歴]			
中央大学理工学部 教授(2013/04-)			
専修大学商学部マーケティング学科 教授(2010/04-2013/03)			
専修大学商学部マーケティング学科 助教授(のち准教授)(2007/04-2010/03)			
専修大学商学部商業学科 専任講師(2002/04-2004/03)			
東京理科大学工学部第一部経営工学科 助手(1999/04-2002/03)			
[詳細プロフィール]			
https://c-research.chuo-u.ac.jp/html/100003201_ja.html			

講師紹介（文学部）

阿部 幸信	アベ ユキノブ	文学部教授	[博士（文学）]
講演形式： 【対面】			
[テーマ]			
F-2 金印から読み解く中国古代王朝			
F-3 ラーメンと人類史			
F-4 漢詩と日本人			
F-5 東洋学誕生記			
[学歴]			
東京大学人文社会系研究科アジア文化研究専攻東アジア歴史社会専門分野博士終了(2002/09)			
東京大学人文社会系研究科アジア文化研究専攻東アジア歴史社会専門分野修士修了(1998/03)			
東京大学 文学部 歴史文化学科東洋史学専修課程（学科名変更）卒業(1996/03)			
東京大学 教養学部 文科III類 修了(1993/03)			
[主な職歴]			
中央大学文学部教授(2009/04-)			
中央大学文学部准教授(2008/04-2009/03)			
日本女子大学文学部准教授（職名変更）(2007/4-2008/03)			
日本女子大学文学部助教授(2006/4-2007/03)			
福岡教育大学教育学部助教授(2003/10-2006/03)			
[詳細プロフィール]			
https://c-research.chuo-u.ac.jp/html/100003270_ja.html			

天田 城介	アマダ ジョウスケ	文学部教授	[博士（社会学）]
講演形式： 【対面】			
[テーマ] E-7 超高齢社会・人口減少社会における社会設計のあり方 E-8 現代日本社会における高齢者介護の変容 E-9 ケアの現場で働くということ E-10 超高齢化・人口減少社会における地方の現実 E-11 ポスト経済成長時代における超高齢社会・人口減少社会における「貧困」の現実			
[学歴] 立教大学大学院社会学研究科社会学専攻博士課程修了(2000/03) 立教大学大学院社会学研究科社会学専攻修士課程修了(1997/03) 立教大学社会学部産業関係学科卒業(1995/03)			
[主な職歴] 中央大学文学部教授(2015/04-) 立命館大学大学院先端総合学術研究科教授(2014/04-2015/03) 立命館大学大学院先端総合学術研究科准教授(2008/04-2014/03) 立命館大学大学院先端総合学術研究科准教授(特別招聘准教授)(2007/04-2008/03) 熊本学園大学社会福祉学部講師(2003/04より助教授)(2002/04-2006/03) 立教大学社会学部助手(2000/04-2002/03)			
[詳細プロフィール] https://c-research.chuo-u.ac.jp/html/100003271_ja.html			
大川 真	オオカワ マコト	文学部教授	[博士（文学）]
講演形式： 【対面】			
[テーマ] F-6 日本人の心の原点を知る G-2 「底の抜けた社会」にどう向き合うべきか			
[学歴] 東北大学文学研究科文化科学専攻日本思想史専攻分野博士後期単位取得満期退学(2006/03) 東北大学文学研究科文化科学専攻日本思想史専攻分野博士前期修了(2000/03) 東北大学文学部史学科日本思想史学専攻卒業(1998/03)			
[主な職歴] 中央大学文学部教授(2020/04-) 中央大学文学部人文社会学科准教授(2017/04-2020/03) NPO法人古川学人指定管理 吉野作造記念館館長(2014/05-2017/03) 東北大学大学院文学研究科 文化科学専攻日本思想史専攻分野(1999/04-2001/03、2007/04-2011/03)			
[詳細プロフィール] https://c-research.chuo-u.ac.jp/html/100003284_ja.html			

小野 潮	オノ ウシオ	文学部教授	[文学修士]
講演形式： 【対面】			
[テーマ]			
E-12 パリ国際大学都市			
F-7 ナポレオンとメディア			
F-8 ボナパルト家の人びと			
[学歴]			
東北大学文学研究科フランス文学専攻博士後期単位取得満期退学(1989/03)			
東北大学文学研究科フランス文学専攻 博士前期修了(1982/03)			
東北大学文学部文学科フランス文学専攻卒業(1979/03)			
[主な職歴]			
中央大学文学部教授(1999/04-)			
中央大学文学部助教授(1994/04-1999/03)			
北海道大学言語文化部助教授(1990/4-1994/03)			
石巻専修大学理工学部助教授(1989/04-1990/03)			
[詳細プロフィール]			
https://c-research.chuo-u.ac.jp/html/100003287_ja.html			
小林 謙一	コバヤシ ケンイチ	文学部教授	[博士（文学）]
講演形式： 【対面】 【オンライン】			
[テーマ]			
F-9 遺跡発掘でさぐる縄文の暮らし			
F-10 考古学からみた邪馬台国論争			
F-11 災害の考古学			
F-12 前期旧石器ねつ造事件と日本考古学			
F-13 考古遺跡にみる世界遺産			
[学歴]			
総合研究大学院大学大学院文化科学研究科日本歴史専攻博士課程修了(2004/03)			
慶應義塾大学大学院文学研究科史学専攻修士課程修了(1987/03)			
慶應義塾大学文学部民族学考古学卒業(1983/03)			
[主な職歴]			
中央大学文学部教授(2013/04-)			
中央大学文学部准教授(2008/04-2013/03)			
国立歴史民俗博物館研究部助教(2002/05-2008/03)			
金沢大学埋蔵文化財調査センター助手(1998/03-2000/12)			
目黒区大橋遺跡調査会主任調査員(常勤)(1992/06-1998/01)			
[詳細プロフィール]			
https://c-research.chuo-u.ac.jp/html/100003296_ja.html			

辻 泉	ツジ イズミ	文学部教授	[博士（社会学）]
講 演 形 式 : 【対面】 【オンライン】			
[テーマ]			
F-14 「推し活」の文化社会学			
F-15 僕らはなぜ鉄道が好きなのか？			
F-16 若者の「地元志向」を考える			
[学歴]			
東京都立大学大学院社会科学研究科社会学専攻博士単位取得満期退学(2004/03)			
東京都立大学大学院社会科学研究科社会学専攻修士修了(2001/03)			
北海道大学 文学部 人文科学科 卒業(1999/03)			
[主な職歴]			
中央大学文学部教授(2013/04-)			
中央大学文学部准教授(2010/04-2013/03)			
松山大学人文学部社会学科准教授(2007/04-2010/03)			
松山大学人文学部社会学科助教授(2006/03-2007/03)			
[詳細プロフィール]			
https://c-research.chuo-u.ac.jp/html/100003320_ja.html			
西川 広平	ニシカワ コウヘイ	文学部教授	[博士（史学）]
講 演 形 式 : 【対面】 【オンライン】			
[テーマ]			
F-17 文化遺産と博物館			
F-18 記録された災害史			
F-19 水資源の歴史学			
[学歴]			
中央大学文学研究科日本史学専攻博士後期課程修了(2011/03)			
中央大学文学研究科国史学専攻博士前期課程修了(1998/03)			
中央大学文学部史学科国史学専攻卒業(1996/03)			
[主な職歴]			
中央大学文学部教授(2022/04-)			
中央大学文学部准教授(2017/04-2022/03)			
山梨県立富士山世界遺産センター 学芸員（山梨県立博物館併任）(2016/04-2017/03)			
山梨県知事政策局富士山保全推進課 副主査（山梨県立博物館併任）(2014/04-2016/03)			
山梨県立博物館 学芸員(2005/04-2014/03)			
山梨県教育委員会学術文化財課 学芸員(2001/04-2005/03)			
八王子市郷土資料館 専門員(1997/04-2001/03)			
[詳細プロフィール]			
https://c-research.chuo-u.ac.jp/html/100003335_ja.html			

安野 智子	ヤスノ サトコ	文学部教授	[社会心理学博士]
講演形式： 【対面】 【オンライン】			
[テーマ]			
E-13 世論調査から見る世界と日本人			
G-3 身近な社会心理学（１）-世界は歪んで見えている？日常に潜む認知的バイアス-			
G-4 身近な社会心理学（２）-同調圧力と集団の社会的影響-			
I-1 文系のためのデータ分析入門			
[学歴]			
東京大学人文社会科学研究科社会文化研究専攻博士後期満期退学(1998/03)			
東京大学人文社会科学研究科社会文化研究専攻博士前期修了(1995/03)			
お茶の水女子大学教育学部教育学科心理学専攻卒業(1993/03)			
[主な職歴]			
中央大学文学部教授(2011/04-)			
中央大学文学部准教授(2007/04-2011/03)			
中央大学 文学部 助教授(2002/04-2007/03)			
[詳細プロフィール]			
https://c-research.chuo-u.ac.jp/html/100003356_ja.html			

講師紹介（総合政策学部）

川崎 一泰	カワサキ カズヤス	総合政策学部教授	[博士(経済学)]
講演形式： 【対面】 【オンライン】			
[テーマ]			
B-8 日本の経済はどうなっているか？			
B-9 人生100年時代の社会保障を考える			
B-10 AI、DXとどう付き合うか			
E-14 人生100年時代の地方創生			
[学歴]			
法政大学社会科学研究科経済学専攻博士課程満期退学(2000/3)			
法政大学社会科学研究科経済学専攻修士課程修了(1997/03)			
法政大学経済学部経済学科卒業(1993/03)			
[主な職歴]			
中央大学総合政策学部教授(2019/04-)			
東洋大学経済学部教授(2013/04-2019/03)			
東海大学政治経済学部准教授(2004/04-2013/03)			
東海大学政治経済学部講師(2001/04-2004/03)			
社団法人日本経済研究センター研究員(2000/04-2001/03)			
川崎市総合企画局総合計画専門調査員(1998/04-2000/03)			
財団法人社会開発総合研究所研究員(1993/04-1997/03)			
[詳細プロフィール]			
https://c-research.chuo-u.ac.jp/html/100003374_ja.html			

講師紹介（国際経営学部）

深町 英夫	フカマチ ヒデオ	国際経営学部教授	[博士（学術）]
講演形式： 【対面】 【オンライン】			
[テーマ]			
C-2 中国の将来 日本の針路			
C-3 中国政治体制100年			
C-4 台湾海峡問題とは何か			
[学歴]			
東京外国語大学地域文化研究科地域文化専攻博士後期課程修了(1996/03)			
ハーバード大学歴史東アジア言語課程(1995/05)			
東京外国語大学地域研究研究科地域研究専攻修士課程修了(1992/03)			
京都大学文学部哲学科美学美術史学専攻卒業(1988/03)			
[主な職歴]			
中央大学人文科学研究所所長(2021/04-)			
中央大学国際経営学部教授(2019/04-)			
中央大学国際経営学部学部長補佐(2019/04-2019/10)			
中央大学国際経営学部開設準備室副室長(2018/11-2019/03)			
中央大学経済学部教授(2004/04-2019/03)			
中央大学経済学部助教授(1998/04-2004/03)			
中央大学経済学部専任講師(1996/04-1998/03)			
[詳細プロフィール]			
https://c-research.chuo-u.ac.jp/html/100003429_ja.html			

講師紹介（国際情報学部）

松野 良一	マツノ リョウイチ	国際情報学部教授	[博士（総合政策）]
講演形式：【対面】			
[テーマ]			
I-2 終戦80年：特攻と中央大学			
[学歴]			
中央大学総合政策研究科博士後期課程修了(2003/03)			
筑波大学教育研究科カウンセリング専攻修士課程修了(1998/03)			
九州大学教育学部（心理学、集団力学）卒業(1979/03)			
[主な職歴]			
中央大学国際情報学部教授(2019/04-)			
中央大学総合政策学部教授(2005/04-2019/03)			
中央大学総合政策学部長(2013/11-2017/10)			
中央大学総合政策研究科委員長(2011/11-2013/10)			
中央大学総合政策学部助教授(2013/04-2015/03)			
TBS東京放送(1992/01-2003/03)			
朝日新聞社(1982/04-1991/12)			
[詳細プロフィール]			
https://c-research.chuo-u.ac.jp/html/100003453_ja.html			

講師紹介（法務研究科）

土田 伸也	ツチダ シンヤ	法務研究科教授	[LL.M. (Universität Würzburg)]
			[修士（法学）]
講演形式：【対面】			
[テーマ]			
A-9 PTAと法			
[学歴]			
中央大学法学研究科公法専攻博士後期課程単位取得退学(2003/03)			
ヴュルツブルク大学大学院（LL.M.）修士課程修了(2000/03)			
中央大学法学研究科公法専攻博士前期課程修了(1997/03)			
中央大学法学部法律学科卒業(1994/03)			
[主な職歴]			
中央大学大学院法務研究科教授(2014/04-)			
中央大学大学院法務研究科准教授(2009/09-2014/03)			
愛知県立大学外国語学部ドイツ学科准教授(2007/04-2009/09)			
愛知県立大学外国語学部ドイツ学科講師(2003/04-2004/03)			
[詳細プロフィール]			
https://c-research.chuo-u.ac.jp/html/100003490_ja.html			
米津 孝司	ヨネツ タカシ	法務研究科教授	[博士（法学）]
講演形式：【対面】 【オンライン】			
[テーマ]			
A-10 企業社会の変化と労働基本権の現在地			
I-3 職場におけるコロナワクチン接種と労働法の課題			
[学歴]			
立命館大学法学研究科民事法専攻博士後期中退(1993/03)			
ケルン大学大学院法学専攻博士修了(1992/07)			
立命館大学法学研究科民事法専攻博士前期修了(1986/03)			
立命館大学法学部法律学科卒業(1984/03)			
[主な職歴]			
中央大学大学院法務研究科教授(2007/04-)			
東京都立大学法学部教授(2003/10-2007/03)			
東京都立大学法学部助教授(1995/04-2003/03)			
[詳細プロフィール]			
https://c-research.chuo-u.ac.jp/html/100003504_ja.html			